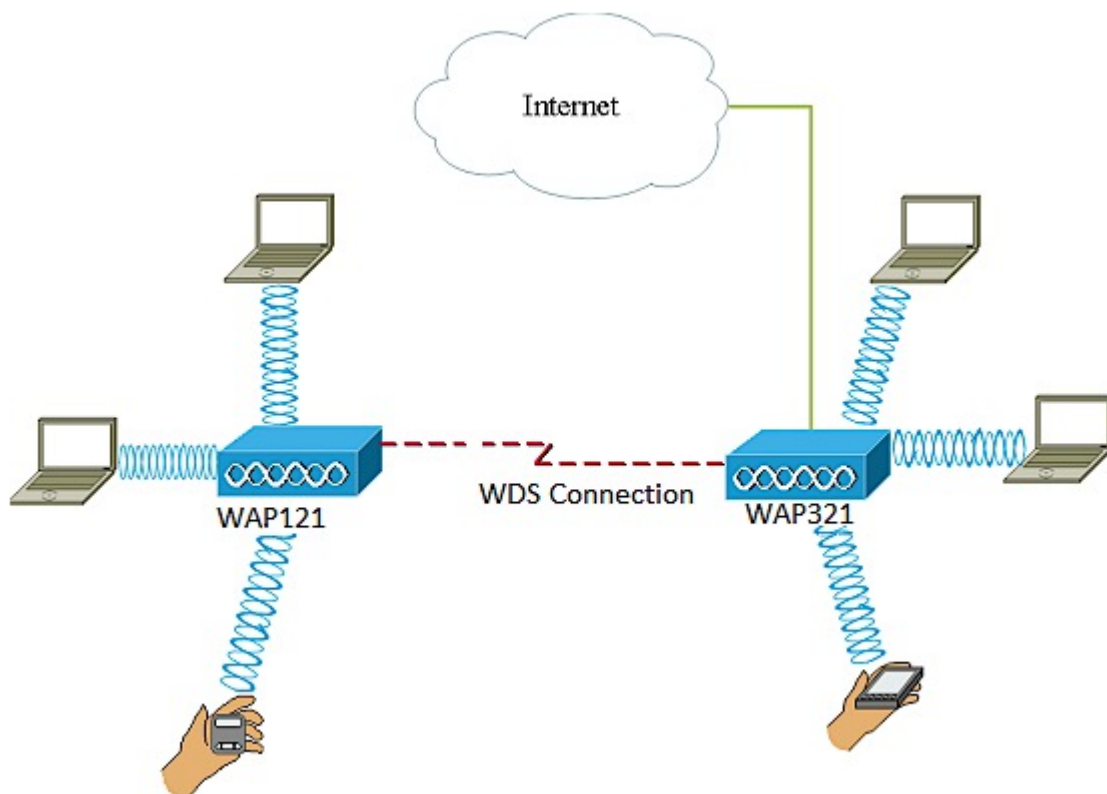


一緒に接続応答 多重アクセスポイントを通して ワイヤレス配分 組織 (WDS)

目標

ワイヤレス配分 組織 (WDS) は多重アクセスポイントを接続することを可能にします。WDS はつながれたアクセスポイントが無線接続によって互いに通信するようにします。この機能はシームレス エクスペリエンスがあるためにローミングするクライアントを有効にします。これは複数のワイヤレス ネットワークを管理することもっと簡単にしたり、またネットワークを接続するために必要となるケーブルの量を減らします。

ワイヤレスアクセスポイント (WAP) はとしてポイント・モードアクセスポイントにまたはリピーター点、ポイント マルチポイント間ブリッジ機能、できます。ポイントツーポイントモードでは、単一 WAP はネットワークのクライアントおよびその他のデバイスからの接続を許可します。ポイント マルチポイント間ブリッジモードでは、単一 WAP は多くのアクセスポイント間のよくあるリンクとして動作します。WAP はまた互いから離れてあるアクセスポイント間の接続を確立できるリピータとして機能できます。無線クライアントはこのリピータに接続できます。システム WDS ロールはリピータのロールへの比較された類似したである場合もあります。



上記のダイアグラム例では、WDS 接続は WAP121 と WAP321 アクセスポイントの間で設定されます。

注: WDS を使用するとき、ペアの WAPs の 1 つが双方の通信の間に情報を再送信しなければならないので最大ワイヤレス スループットが最初のホップの後で 2 等分されるかもしれないことは可能性のあるです。

この技術情報は多重アクセスポイントを接続するために WDS ブリッジを設定する方法を説明したり、また、下記に述べられる特定のデバイスに適用します。

適当なデバイス

- WAP121
- WAP321
- WAP371
- WAP551
- WAP561

[Software Version]

- 1.0.6.5 — WAP121、WAP321
- 1.3.0.4 — WAP371
- 1.2.1.3 — WAP551、WAP561

WDS の設定のガイドライン:

1. WDS は Cisco WAP デバイスの特定のペアをだけ使用します。ペアは下記に記載されているようにあります。

- WAP321 の WAP121
- WAP351 の WAP131
- WAP361 の WAP150
- WAP561 の WAP551
- 複数の WAP371
- 複数の WAP571
- 複数の WAP571E

2. これらのデバイスのあらゆるペア間の 1 WDS リンクだけあることができます。すなわち、リモート メディア アクセス制御 (MAC) アドレスは一度だけ特定の WAP のための WDS ページで書かれるかもしれません。

3. デバイスは無線、IEEE 802.11 モード、チャンネル帯域幅およびチャンネルの同じ設定を備えるはずです。

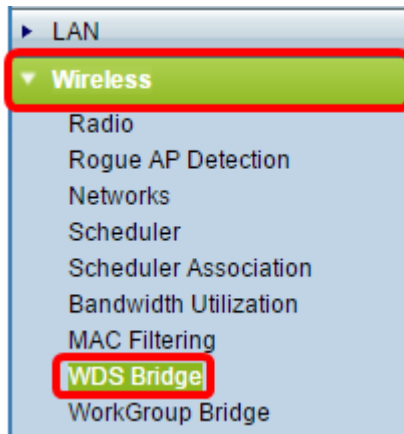
4. チャンネル 選択は規定され、自動に設定しない必要があります。

注: 802.11n のブリッジを 2.4 GHz 帯域操作する場合、20/40 MHz 20 MHz WAP デバイスを検出するためにデフォルトの代りに 20 MHz にチャンネル帯域幅を設定して下さい。組み合わせを誤まれたチャンネル帯域幅によりリンクの切断を引き起こします。

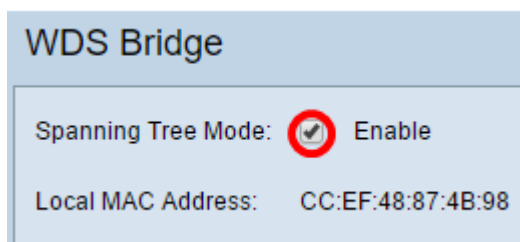
一緒に接続応答 多重アクセスポイント WDS によって

注: イメージは WAP の正確なモデルによってわずかに異なるかもしれません。この技術情報のイメージは WAP321 から撮られます。

ステップ 1. WAP Webベース ユーティリティの 1 へのログインは > WDS ブリッジ 『Wireless』 を選択し。

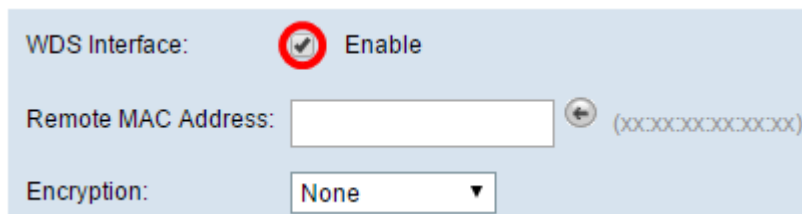


呼び出します。スパンニングツリーモードエリアの **Enable** チェックボックスをチェックして下さい。スパンニングツリーを有効にすることは配線された（イーサネット）接続および WDS ブリッジの WDS ブリッジが組み合わせから成っているループを切り替えることを防ぎます。

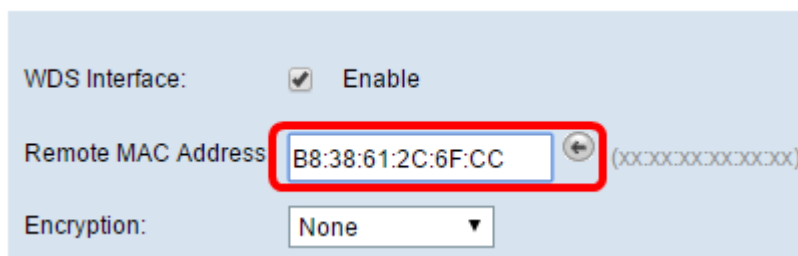


注: ローカルMACアドレス エリアは使用される電流 WAP の MAC アドレスを表示する。

ステップ 3 WDS インターフェイスがあるように **Enable** チェックボックスを確認して下さい。



ステップ 4. リモート MAC Address フィールドで宛先 WAP の MAC アドレスを入力して下さい。これは WDS ブリッジの反対側のアクセスポイントです。



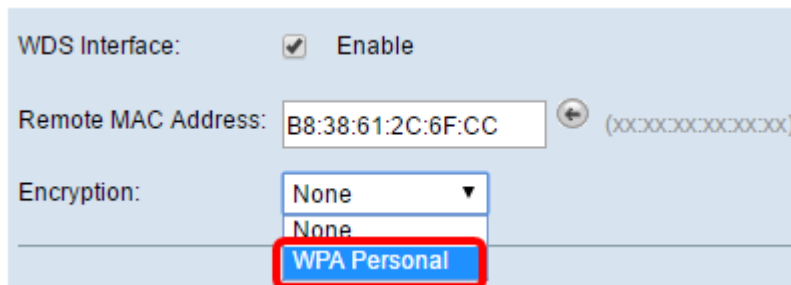
注: また MAC アドレスを代りに選択するためにフィールドの側の左の矢印 ボタンをクリックできます。左の矢印はネットワーク名またはサービスセット識別 (SSID) と共に近隣 WAPs のすべての MAC アドレスのリストを表示します。

ステップ 5. 暗号化 ドロップダウン リストから望ましいオプションを選択して下さい。これは WDS リンクのために使用できる暗号化の種類です。次のオプションがあります。

- なし— No encryption は使用されます。このオプションはすべての無線モードに利用できます。これはネットワークにセキュリティ上の問題がないか、または WPA をサポートしないデバイスがあれば場合使用されます。このオプションを選択した場合、[ステップ 8](#) にスキップして下さい。

注: 追加する各リモート アクセス アクセス・ポイントのセキュリティを設定することを推奨します。

- 個人的な WPA — WPA は事前共有キーを 2 つのアクセス ポイントの間で認証するのに使用します。このオプションはすべての無線モードでの利用できます。



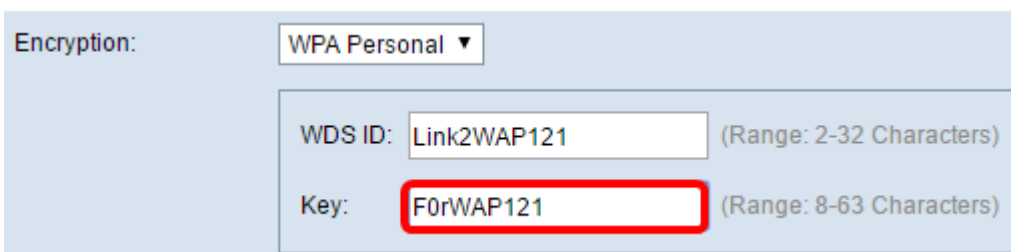
注: この例では、個人的な WPA は選択されます。

ステップ 6. (オプションの) は WDS ID フィールドで WAP の認証のための WDS ID を入力します。この ID はリンクの識別子として動作し、WDS に接続するすべての WAP デバイスに同じであるはずでず。範囲は 2 から 32 文字からです。



注: この例では、Link2WAP121 は使用されます。

ステップ 7. Key フィールドで WAP の認証のためのキーを入力して下さい。このキーは WDS に接続するすべての WAP デバイスに同じであるはずでず。範囲は 8 から 63 文字からです。



注: この例では、F0rWAP121 は使用されます。

[ステップ 8](#). 『SAVE』 をクリックして下さい。

Spanning Tree Mode: Enable

Local MAC Address: CC:EF:48:87:4B:98

WDS Interface: Enable

Remote MAC Address: (XXXXXXXXXXXX)

Encryption:

WDS ID: (Range: 2-32 Characters)

Key: (Range: 8-63 Characters)

注: WDSブリッジに接続することを望む他のWAPsのために上記のすべてのステップを繰り返して下さい。最大4 WDSは追加することができますインターフェイスします。

WDSによって今正常にアクセスポイントを接続する必要があります。